

『認知症予防のためのリハビリ』

当院のリハビリテーション科が、5月27日に出前講座を実施しました。今回のテーマである『認知症予防のためのリハビリ』をご紹介します。

認知症とは、様々な原因により認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態のことを言います。認知症は高齢者の方に多く、日本では65歳以上の高齢者で認知症の方は約600万人いるといわれています。

この講座では、認知症とはどんな症状なのか、また、認知症の予防策について詳しくお話ししました。受講者の方も相づちを打ちながら真剣に講師の話に耳を傾けてあり、講師の質問にも積極的に意見を出されたりと活発的な講座となりました。

日本では全国的に高齢化が進んでいますが、大牟田市は日本の中でも特に高齢者が多い地域です。認知症を他人事だとは思わず、早めに予防策を知り行動に移していきましょう。

◆物忘れと認知症の違い◆

	物忘れ	認知症
体験したこと	一部を忘れる (例：食事のメニュー)	全てを忘れる (例：食事をとったこと自体)
学習能力	維持されている	新しいことを覚えられない
物忘れの自覚	ある	ない
日常生活への支障	少ない	ある
症状の進行	きわめて徐々に進行	進行する

当院では、職員がその専門性を活かした出前講座を実施しています。今回実施した『認知症予防のためのリハビリ』以外にも様々な講座がありますので、ご関心のある方は、大牟田市ホームページの「市役所職員出前講座」をぜひご覧ください。

☆URLから「市役所職員出前講座」をチェック！

(<https://www.city.omuta.lg.jp/kiji0032883/index.html>)

☆QRコードから「市役所職員出前講座」をチェック！

